

## ウクライナで4年間の戦争は、女性や子どもたちに壊滅的な影響を及ぼしている

年前、ロシアがウクライナに侵攻した際、会員による世界的な親睦を通じて理解、親善と平和の促進に努め、正義と人権および基本的自由の普遍的尊重を推進する世界的な団体である国際ゾンタは、ウクライナにおける外国からの侵略と戦争行為を強く非難しました。ウクライナ戦争が4年を迎えた今日、私たちは、戦争初期に直ちに行動を起こし、避難民の女性や子どもたちに支援と奉仕活動を行なったウクライナのゾンタの会員に敬意を表します。彼女たちは、自分たちが戦争の恐怖に耐えながらも、常に同胞であるウクライナの人々に光と希望を与えてきました。

私たちは、紛争や戦争のさなか、女性と少女、特に家を追われた人々が、性的およびジェンダーに基づく暴力の危険にさらされることが増えることを知っています。また、女性は家族をまとめ、子どもたちの安全と幸せを確保し、戦争によって受けた長期的な精神的・身体的苦痛に対処するという大きな負担を担っています。不幸なことに、ウクライナの女性と少女は、[女性と少女に対するウクライナ戦争の壊滅的な影響に関する国連政策文書](#)に示されているように、これらの困難やさらに多くの問題の矢面に立たされています。この報告書には、食糧不安、栄養失調、エネルギー貧困の増加が、女性と少女に壊滅的な影響を及ぼしていることが指摘されています。ウクライナでは、ジェンダーに基づく暴力、食物のための取り引き的性交、少女に退学を強いる児童婚、無報酬の介護や家事の増加、女性や少女の身体的・精神的健康への被害が著しく増加しています。

[紛争監視団の報告書](#)に詳しく述べられているように、ロシアが数千人ものウクライナの子どもたちをロシアに強制移住させたため、現在進行中のウクライナ戦争で、家族は悲しいことに新たな恐怖に直面しています。戦時中に家族から引き離された子どもたちの扱いについては、厳格な法的ガイドラインがあるため、専門家は、ロシアによる子どもの強制連行は、国際人権法の明確な違反であると指摘しています。

女性と少女のためのより良い世界を築くために活動する団体である国際ゾンタは、すべての人のための平等と平和への共通の決意を共有し、多様な個人からなる国際社会を構築、支援し続けていく所存です。私たちは団結し、国のリーダーたち、そしてウクライナの現地で活動する人々に対し、ウクライナで起きている複数の危機に対する対応が、女性と少女に特有のニーズに沿ったものであるよう求めるとともに、すべてのウクライナの子どもたちの安全な帰還を要求します。